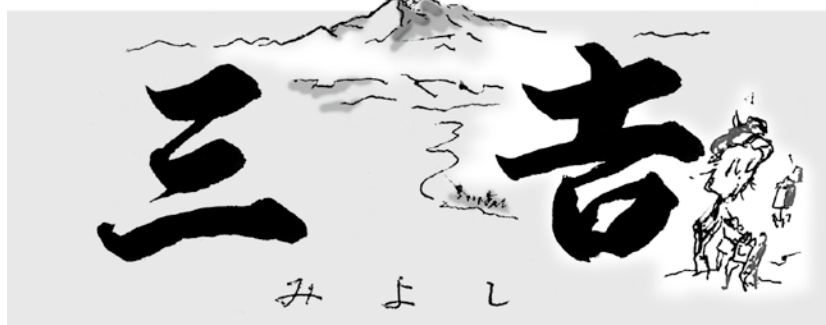




発行所

太平山頂上鎮座

太平山三吉神社総本宮

宮司 田 村 泰 教

秋田市広面字赤沼3の2

電 話 (018) 834-3443

F A X (018) 834-3444

<http://www.miyoshi.or.jp>



太平山頂上 空輸作業 (5月28日)

若い頃から一世を風靡した元野球選手の凋落振りがマスコミを賑わした。才に恵まれた人間ほど傍に大きな落とし穴があるのだろう。私たち凡人にすれば何とも勿体なく残念な話だ。▽人間誰しも得手不得手がある。そして苦勞せずとも案外スナリ出来るもの。好きで打ち込んでも中々モノにならないこと…。イチロー選手のように、天賦の才能に人一倍の努力を重ねて孤高の存在になることは稀有。市井に生きる者にとっては、自分の才分の無さを嫌と言うほど味わう機会が殆どだ。▽ただ、僅か半世紀を生きる身で感じることは、むしろ器用な人間ほどあつさり挫折し諦めてしまふ傾向があること。簡単に身に付いた技術は直ぐに忘れる。しかし、苦勞して会得した技能・力量は一生自分のものとなる。▽各分野で天才と言われた人々が、誰しも大成したとは限らない。俊才の有無にかかわらず、先ずは地道に、着実に、コツコツと自分の道を真つ直ぐに歩む。むしろその姿勢こそが、最も大切な才能なのかもしれない。

宮司 田 村 泰 教

地元シリーズ⑤1

蔵王権現舞台石

神社協力会 清水川 修



太平山三

日本列島は四〇〇年周期で大

吉神社の表 雨大洪水に襲われているようで

参道である す。静岡県の登呂遺跡は西暦

野田口登山 一〇〇年頃の大洪水で放棄され

道の本格的 た集落跡だそうです。直近の大

な沢道に入ってすぐの所に蔵王 雨の当たり年は西暦一七〇〇年

権現舞台石と呼ばれている巨石 頃になります。湯沢と雄勝郡を

があります。5〜6畳ほどの広 領国としていた佐竹南家のお

さの平らな石で上に飛び乗って 日記を読んでいたら貞享四年

踊りだしたくなるような石です。 一六八七年の大雨大洪水がこの

江戸時代の紀行家、菅江真澄は 頃のナンバーワンであるように

太平山を登り、日記『つきのお 思いました。今の暦でいえば6

ろちね』でこの石の事を紹介し 月17日から8月9日まで31日間

ています。文化九年一八一二年 も雨が降り6回大水が出た、自

の記事ですので、真澄が見てか とがないう大水だと南家の家老は

ら今日に至るまで二〇〇年間、 お日記に書いています。角館の

この川では舞台石を押し流すよ 佐竹北家のお日記も同様に角館

うな大洪水大土石流などはな での大雨の被害を記しています。

かったことになります。

北家では連の悪いことに京都に 覚ゆ水に御座候」と感じるよう

出張していた殿様と若殿様のご な事態に遭遇したら、まず自分

一行がこの大雨の時に秋田に と家族の安全を確保してください

帰っています。滋賀・岐阜・石 い。地震津波の時と同じです。

川・新潟県から庄内にかけて大 周囲の人々にもそんな時はまず

雨に遭遇しており、仁賀保の平 第一に自分たちの安全を確保し

沢から萱が沢を経て刈和野まで てくれと常日頃呼びかけてくだ

1日で踏破していますが、散々 さい。われわれの時代に遭遇し

な目に遭ったと道中日記に書い なくても信じられない大雨大洪

ています。大雨や洪水は局所的 水はかならず起きるのだと子孫

地域的な被害が普通ですが、こ たちにも伝えてください。蔵王

の時はかなり広い地域で発生し 権現舞台石はこんなことを語っ

ています。盛岡藩家老席日記を ているように思います。

読みますと岩手県でもほぼ南家

お日記と同じような日に大雨洪

水になっています。貞享四年は

東日本の各所に被害があったよ

うです。

次の大雨の当たり年は西暦

二一〇〇年になります。今後

一〇〇年くらいのうちに蔵王権

現舞台石を動かしてしまうよう

な四〇〇年に一度という大雨大

洪水が必ず来るように思います。

「此度の洪水三十年にもこれ無く



言挙げ ⑤8

今春より奉職した三名の自己紹介です

秋田での生活

出仕 小池 主^{かず}眞^ま

この度ごらないように体調の管理はしつ
縁がござい かりと行つていきたいです。
まして奉職 入社してからまだ少ししか
させていた 経つていないのですが、時間が
経つ速さについてとても驚いて

生まれは由利本荘市の旧大内
町です。小学校中学校と野球
を、高校の時に弓道をしていま
した。最近あまり運動をして
いませんので、健康のために運
動をしたいと思つています。
です。地元秋田に帰つて来て暮
らせることを嬉しく思つていま
す。

現在は覚えることがたくさん
あり、毎日が新鮮です。大変で
はありますが、早くものを覚え
役にたてるように、周りをよく
見て何をすべきかよく考えて行
動したいと思います。迷惑にな

これからの志

出仕 佐々木 佳祐



今年度よ 初心者です。私なりに登山の
り太平山三 本を読み、インターネットの
吉神社に奉 情報を見てみたのですが、そ
職致しまし れでも未だに分からないこと

た。まず私は秋田県の仙北市、
西木町の出身です。隣町にあ
る角館高校を卒業しました後
は、私の祖父が神職として務
めていたこともあって、神職
養成機関としての國學院大學
へ進みました。在学期間中は
宗教学や神道のことを学ぶ他
に、雅楽を学び音楽に触れま
した。出来る事なら、地域の
お囃子や民謡を学んで音楽の
道に励みたいと思います。

当社では奥宮奉仕というこ
とで太平山を登り、大体一週
間ほど山頂で勤務することに
なるのですが、私は山登りの
私の自己紹介は以上です。
初の言挙げという事でしたが、
私のことを出来るだけ知って
頂ければ幸いです。

奉職にあたって

出仕 平賀万^ま唯^い

今年の3月に東京の
神道文化学

部を卒業し、神職の資格を得
ました。日々の奉仕や参拝者

と参りました。他の二人と同
じく、出身は秋田県の三種町

です。いわゆるUターン就職
というものになるのですが、

元々卒業後は秋田に戻る予定
でした。何故かと言いますと、

私の実家も神社で先祖代々神
職として奉仕してきました。

私が神職の道を志したのもそ
のような理由があったからで

す。ですが実家の神社で一人
前の神職として人前に出るに

はあまりにも未熟と思い悩ん
でいましたそんな折に、ご縁

あつて太平山三吉神社へ奉職
いたします。

平成28年 太平山 山開きのご案内

去る5月28日、快晴に恵まれ本年の物資空輸作業を無事終了いたしました。

霊峰《太平山》では、本年も9月末まで奥宮並びに山小屋を開所し、神職関係者が常駐いたします。

近年は山ガールを始めとする若い方や、《新日本百名山》として県外からの登山者も増えております。
ご地元や崇敬者の皆さまのご登拝をお待ちいたしております。



奥宮と山小屋

《奥 宮》 平成22年竣工。頂上に位置する神社としては全国有数の大きさです。

《山小屋》 不慮の火災焼失を受け平成21年再建。30名宿泊可能。(要予約)

※山頂のトイレは昨年よりバイオ形式となり使用できます。

《本年の主な登山会の予定》

- ・奥宮・山小屋開所 6月 1日 (水) ～9月30日 (金)
- ・関係市町村合同登山 6月12日 (日)
- ・太平山山開き (開山祭) 7月17日 (日) 御神体を山頂へお遷しします
- ・太平山チャレンジ (ザブーン主催) 7月10日 (日)
- ・第5回山ガール登山 7月23日 (土) ～24日 (日) (1泊2日)
- ・神社主催太平山登ろう会 9月 3日 (土) ～4日 (日) (1泊2日)
- ・閉山祭 9月17日 (土) 御神体を里宮へ遷御

※各種登山会の詳細等は、お気軽に神社にお尋ね下さい

※丸舞 (岩見三内) コースは橋が崩壊、軽井沢 (国民の森) コースは草が覆っています。

第58回

『太平山に登ろう会』のご案内

太平山頂上奥宮に参拝し、山小屋に1泊いたします。夕陽や星空、ご来光を見る絶好のチャンスです。

神社関係者が同行案内しますので、初心者の方、おひとりでのご参加でも安心です。是非奮ってご参加下さい。

記

- ・期 日 9月3日(土)～4日(日) (1泊2日)
- ・集 合 午前11時 里宮
- ・参加費 9,500円 (宿泊・交通費・保険料・初穂料・食事代・記念写真代等一切を含みます)
- ・申込み 10日前までに係(今野)までお申込下さい。(定員20名)
- ・登山路 旭又(仁別)コース往復(時間はあくまでも目安)



『登ろう会』『山ガール』日程

1日目

里宮 集合 安全祈願後出発→旭又園地→御滝神社→御手洗(みたらし・冷たい湧水・ブナ林)→太平山山頂祈願祭の後夕食直会【山頂山小屋泊】

2日目

(朝拝行事・朝食)→御手洗→御滝神社→旭又→仁別森林博物館見学

第6回『山ガール登山』のご案内

初心者
大歓迎

今年で第6回目を迎える女性限定の登山会。秋田市のシンボル霊峰太平山に登り、山頂で1泊します。登山未経験の方、初心者の方、1人でのご参加也大歓迎です(山岳ガイド同行)。

毎年恒例の懇親会では、お酒を飲みながら女性同士で大いに盛りあがります。是非この機会にご参加下さい。

【期 日】平成28年 7月23日(土)～24日(日) (1泊2日)

【集 合】9:00 里宮

【対 象】健康な方(20代～40代の女性限定)で、体力がある方

【参加費】6,000円(宿泊・食事代、初穂料、保険料、写真代等含む)

※山道の運転に自信のない方は、神社の車にて登山口へ向かいます。

【申込み】電話・FAX・メール等。7月16日締切り(定員20名)。担当:和田



1日目

途中御手洗にて昼食・休憩→山頂着15:15頃

2日目

ザ・ブーン着11:45頃(お風呂・昼食後解散)

※ご不明な点(荷物・服装など)に関しましては、担当和田迄ご連絡ください。

夏越の大祓式のご案内

○日時 六月三十日(木) 午後三時(里宮)

この半年の間に知らず知らずの内に自分の身に積もった罪穢れや災いを、形代(かたしろ)や切麻(きりぬさ)、また茅の輪で祓い清め、夏の邪気を祓い、残る半年を心身ともに清々しく過ごすことをお祈りいたします。

是非、ご家族皆さまお揃いでご参列くださいませ。

《形代でのお祓いのしかた》

- 一、形代にそれぞれご家族の氏名・生年月日をお書き下さい。
- 二、形代で全身を撫でて祓い清めます。特に病氣やケガなどで具合の悪い所を入念にお祓い下さい。
- 三、次に形代を両手で持ち、思いをこめて大きく三度息を吹きかけて下さい。

●以上のお祓いを行った後、ご家族の分をまとめて当日ご持参下さい。

●形代は神社にご用意しております。必要数をご連絡下さい。

尚、ご都合のつかない方は、随時ご持参又はご郵送下されば神事ご奉仕の上、ご神符をお送り致します。

茅の輪神事

水無月の

六月三十日(木)

なごしの祓する人は

午後三時肅行

千歳の命延ぶといふなり



第31回 太平山写生会

秋田のシンボル太平山をかこう!!

平成28年 7 月 9 日(土)

午前 9:00

太平山三吉神社境内周辺集合

日 時 平成28年7月9日(土)
午前9時開始(随時解散)
【荒天の場合は7月10日(日)に順延】

場 所 太平山三吉神社境内周辺

主 催 太平山写生会実行委員会

後 援 太平山三吉神社総本宮

協賛予定 秋田魁新報社 秋田中央郵便局
東日本電信電話(株)秋田支店 秋田銀行広面支店
北都銀行広面支店 秋田信用金庫広面支店
秋田県信用組合東支店 株式会社マルシン
一ノ関時計店 花のヤマト 株式会社ぺんてる
(有)木曾塗装 汎山書道教室(順不同)

内 容

参加対象 幼児、小・中学生、保護者

参加申込 当日集合場所で受付

写生対象 太平山及び神社建物、境内からの風景など

様 式 水彩、クレヨン、パステルなど自由

審 査 市内小・中学校の先生

展示予定 秋田銀行広面支店 北都銀行広面支店
秋田信用金庫広面支店

表彰式 8月20日(土)午前9時
於：太平山三吉神社齋館
入賞者に賞状と副賞を授与



みよしスケッチ



快晴のもと多数のご参列を
頂きました

春季例大祭 (五月七日・八日)



三吉梵天祭も参加致しまし
た

稲食と芸能大祭 (六月四日・五日)



札幌三吉神社例祭参列 (五月十五日)



山頂視察作業 (五月十一日)



神武館後援会総会 (四月十五日)



神社協力会総会 (四月二十二日)

平成
28年

開

山

祭

恒例により平成二十八年開山祭を左記により斎行いたします。多数の方にご参列賜われますようご案内申し上げます。

記

日時

七月十七日(日)

午前10時

於

里宮拝殿

この祭儀は古式に則り、里宮での神事後、神人奉仕の方々により御神体を太平山山頂の奥宮にお遷し申し上げます。(往路・野田口、後路・旭又口)
○ご参列の方は、七月十日までに係 和田までご連絡下さい。

○神人奉仕・斉館宿 泊希望の方、神人と同行せず別途登拝予定の方は、必ずご連絡願います。
○神人奉仕者は斎戒沐浴を厳守下さい。



平成28年 下半期主な神事予定 (山関係は5頁参照)

10月1日(土)	午前10時	印章供養祭	感謝を込めて印鑑を供養するお祭
	午後1時	人形感謝祭	愛着ある人形に感謝を込めてお焚き上げする神事(人形は9月20日よりお預かり致します)
10月16日(日)	午後6時	秋季例大祭宵宮祭	一年の恵みとご加護に感謝する秋の例大祭 県内外からの多くの参詣者で賑わいます
10月17日(月)	午前11時	秋季例大祭当日祭	
10月23日(日)	午前8時30分	歩こう会	近隣の社寺・史跡を歩いてまわります。
11月23日(水)	午前10時	新嘗祭	五穀の収穫に感謝する祭典
12月13日(火)	午前10時	煤払い式	境内建物のすすを払い、新年を清々しく迎えるための恒例行事
12月中旬		神符守札遷霊清祓式	新年に頒布するお札、お守りをお祓いいたします
12月31日(土)	午後2時	師走の大祓式	一年の罪、穢れを祓い清め、心新たに新年を迎えるための恒例神事

※毎月8日・17日は月次祭(午前10時)がございます。

※各祭典ともどなたでもご参列頂けます。お気軽にお問い合わせ下さい。



秋季例大祭



歩こう会



師走の大祓